

2023 年度「年次報告会（2023 年 7 月 1 日）」 主任司祭（高祖敏明）の挨拶メモ

I. はじめに 来年（2024 年）は本教会の献堂 25 周年

7 月 1 日：福者ペトロ岐部司祭と 187 殉教者の記念日

2023 年：江戸の大殉教（1623 年 12 月 4 日、高輪札ノ辻）から 400 周年

II. 「教会がえり」を踏まえて、アフターコロナの「祈りと愛」の共同体づくりを目指す
イエスにつながり：教会をガリラヤに＝聖書（福音）と主イエスに出会い、つながる場に

★「私の兄弟たちにガリラヤへ行くよう言いなさい。

そこで私に会うことになる」（マタ 28：20、参考マコ 16：7）

★「私はブドウの木、あなた方はその枝である。人が私につながっており、

私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ」（ヨハネ 15：5）

互いを受け入れ：人は神の似姿として存在し、キリストの血によって贖われた存在

相手の中にキリストを見る、相互の違いを超えて＝違いは多様性と豊かさの源

★「主の祈り」を授けられた直後（マタイ 6：14－15）：

もし人の過ちを赦すなら、あなた方の天の父もあなた方の過ちをお赦しになる。

しかし、もし人を赦さないなら、あなた方の父もあなた方の過ちをお赦しに

ならない」⇒他者とのもつれの多さ、人（他者と自分）を赦すことの難しさ？

御父の家へ：主イエスが示している「アッバ、父よ」と「父の家」

★12 歳のイエス＝自分の**父の家**にいるのは当たり前（ルカ 2：49）

参考：放蕩息子の例え＝父のところでは…（慈しみ深い父、ルカ 15：17、18）

★神殿の浄め＝**私の家**は祈りの家（強盗の巣にしている、マタイ 1：13 と並行箇所）

商人を追い出す＝私の**父の家**を商売の家としてはならない、ヨハネ 2：16）

★父に至る道＝私の**父の家**には住むところがたくさんある（ヨハネ 14：2）

参考：父のもとで、父のもとへ（ヨハネ 8、14、15、16、20 章に多数）

☆私の父であり、あなた方の父である方、私の神であり、

あなた方の**神である方**のところへ私は上る（ヨハネ 20：17）

参考：赤ちゃんのモーセ＝神の目に適った美しい子で、3 か月の間、**父の家**で育てられ…、
（使徒言行録 7：20）

ともに歩もう：「シノドス」に心を合わせ、「献堂 25 周年（2024 年）」をともに祝い、

「ミッション 2030」の達成が、中長期的な持続的発展の基盤となるように

★私は世の終わりまで、いつもあなた方とともにいる（マタイ 28：20）

★私を愛する人は、私の言葉を守る。私の父はその人を愛され、

父と私とはその人のところに行き、一緒に住む（ヨハネ 14：23）